

講演会と写真展

新潟県立環境と人間のふれあい館では、新潟水俣病問題や東日本大震災などを契機とした現在の社会的課題に対して、水俣病の経験・教訓をどう生かしていくかなどをテーマとして、新潟水俣病問題や環境問題などに取り組んでいる立教大学教授の関礼子氏による講演と、水俣病問題等を学んでいる大学生によるディスカッションを開催します。

また、期間中、報道各社の協力による東日本大震災報道写真展を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

■講演会 (会場:環境と人間のふれあい館 ホール)

- 日時 平成24年5月5日(祝・土)
午後1時30分から4時まで (受付午後1時から)
- 講師 関 礼子さん(立教大学教授/環境社会学・地域環境論)
タイトル「水俣病の経験・教訓を現在の社会にどう生かしていくか」



【講師プロフィール】

開発と自然保護、新潟水俣病問題などに関心を持ち阿賀野川流域での調査や、フィールドから自然環境保護の問題や、公害など環境問題の「負の歴史」の「いま」についての研究に取り組んでいる。

新潟水俣病問題に係る懇談会委員(2007年～08年)、新潟水俣病施策推進審議会委員(2009年～)

著書に、『新潟水俣病をめぐる制度・表象・地域』(東信堂)、『コモンズをささえるしくみ』(共著、新曜社)など。

●学生とのディスカッション

新潟医療福祉大学1名と立教大学1名の学生が、関礼子さんのコーディネートにより、新潟水俣病問題や現在の社会的課題について、自身の体験や若い世代として取り組んでいきたいことなどをディスカッションします。

■東日本大震災報道写真展 (会場:環境と人間のふれあい館 研修室)

- 日時 平成24年4月22日(日)から
5月6日(日)まで
(4月23日(月)・5月1日(火)は休館)
- 開催時間 午前9時30分～
午後4時30分まで
(5月6日(日)は午後1時まで)



建物の上に取り残されたままの観光船



大津波にのみこまれ、骨組みだけになった宮城県南三陸町の防災対策庁舎

協力:新潟日报社、共同通信社、河北新報社、東北電力

主催・問合わせ先

講演会、写真展とも参加費(入館料)は無料です。

新潟県立環境と人間のふれあい館 －新潟水俣病資料館－

〒950-3324 新潟市北区前新田字新々田乙364-7

TEL:025-387-1450 FAX:025-387-1451

URL: <http://www.fureaikan.net/> E-mail: fureai@abeam.ocn.ne.jp

電車の場合	JR豊栄駅よりタクシーで5分。徒歩30分。
お車の場合	新新バイパス「豊栄I.C.」より車で10分。

